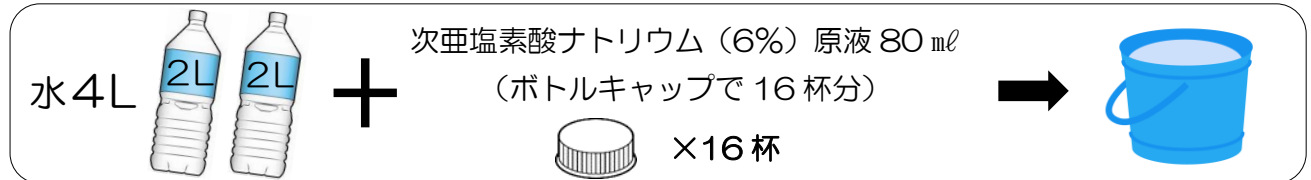


嘔吐物処理方法

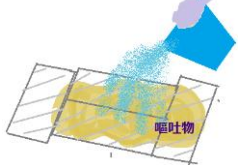
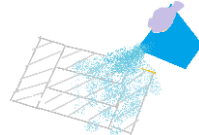
【必要物品】 ※平常時から準備しておきましょう

- 使い捨て手袋(2組あると便利) □使い捨てエプロン □使い捨てマスク □新聞紙
- 古タオルまたはペーパータオル等 □ビニール袋 □靴カバー(無ければ袋も可)
- 次亜塩素酸ナトリウム □計量カップやペットボトル等 □消毒液作成用バケツ

【消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム希釈液(0.1%濃度))の作成方法】



- 必ず手袋を着用し、次亜塩素酸ナトリウムに直接触れないようご注意ください。
- 希釈した消毒薬は作り置きをすると濃度が薄くなるため、使用ごとに作成しましょう。

【嘔吐物処理方法】 ① 使い捨てのガウンまたはエプロン、手袋、マスク、靴カバーを着用する。 ※手袋を二重に着用する方法もあります 		嘔吐物の処理を実施する前に ① 周囲にいる人を別の場所へ移動させ、嘔吐物を新聞紙やペーパータオル等で覆う。 ② 窓を開ける等、嘔吐場所の換気を行う。 ③ PPEを着用後、嘔吐した本人への対処を行う。 <u>可能であれば、①～③は同時進行で行い、嘔吐物処理は最小人数で行うようにしましょう。</u>			
② バケツに消毒液を作成し、嘔吐物を覆っている新聞紙やペーパータオルの上から消毒液を汚物が飛び散らないように静かにそそぐ。 		③ 新聞紙やペーパータオル等を使用し、外側から内側へ向けて嘔吐物を拭き取る。拭き取った新聞紙やタオルはビニール袋へ入れる。 		④ 手袋を二重に着用していた場合は、外側の手袋を外し、ビニール袋へ入れる。 嘔吐物処理実施者の靴の裏を消毒液に浸したペーパータオル等で拭き取る。(靴カバーを使用した場合は、汚染部位に触れないように靴カバーを外す)	
⑤ 嘔吐物などを入れたビニール袋の口をしっかりと縛り、別のビニール袋へ入れる。 		⑥ 嘔吐物を拭き取った場所およびその周辺（半径2mを目安）は、消毒薬に浸したペーパータオル等で覆い、10分程度おいておく。 		⑦ ⑥を待っている間に、消毒薬に浸したペーパータオル等で、⑥の周辺を拭き取る。 <u>※床の場合は外側から内側へ、壁は上から下へ向かって拭き取り消毒を行う。</u>	
⑧ ⑥の後、覆っている部分を新しいペーパータオル等で拭き取り、ビニール袋へ入れる。 ⑥で覆っていた箇所を消毒薬に浸した新しいペーパータオル等で拭き取る。		⑨ 使用した新聞紙やペーパータオル、手袋、マスク、靴カバー等をビニール袋に入れ、しっかりと口を縛る。 		⑩ 嘔吐物処理後、十分に手洗い・うがいを行う。 <u>※手洗いは2回行うことが望ましい。</u> 	
⑪ 次亜塩素酸ナトリウムは、<u>金属を腐食させるため</u>、消毒後 10 分程経過したら水拭きを行う。 					
⑫ 最後にもう一度、十分な手洗い・うがいを行う。					

※二重手袋にすることで、吐物処理時の周囲への汚染拡大を低減させることができます